

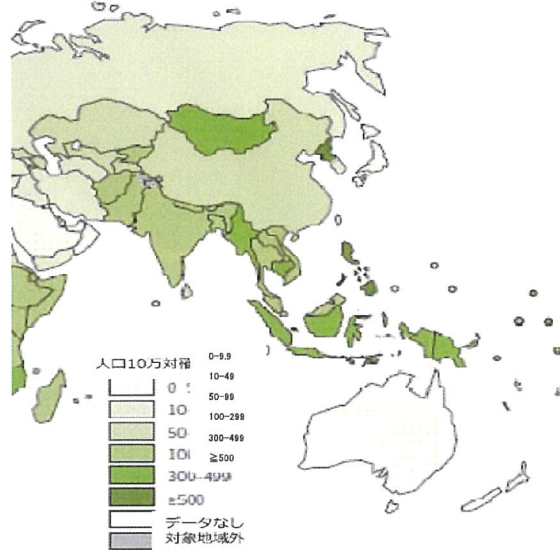
令和6年度 外国出生者受入事業所及び学校向け 結核研修会

日本の20歳代の新登録結核患者のうち、外国出生者割合は8割を超えており、出生国別では、フィリピンが最多で、続いてインドネシア、ネパール、ミャンマー、中国となっています。

宮崎県でも、29歳以下の新登録結核患者のうち、**外国出生者割合が約7割以上**を占めています。

結核は**早期発見・早期受診**が重要です。もし結核を発病しても、抗結核薬の内服を行うことで、**治すことができます**。

結核が発生した際には保健所もサポートします。この機会に結核の基礎知識や感染対策について学びませんか。



※結核罹患率：人口10万人あたりの患者数 【Global TB report 2023】

日時 令和6年12月16日（月）
午後2時～午後3時30分（受付：午後1時30分～）

場所 宮崎県庁防災庁舎 5階 56号室
※オンライン（Microsoft Teams）でも参加可能

内容

- ①行政説明「宮崎県における結核患者の状況について」
- ②講演「監理団体や外国出生者受入事業所・学校における結核対策」

公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部企画・医学科長
平尾 晋 先生

申込方法 下記URLまたは二次元コードより申込
<https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/CuagQuT8>
申込締切 11月29日（金）



問い合わせ先 宮崎県薬務感染症対策課 感染症対策担当
TEL：0985-44-2620 FAX：0985-26-7336